

◎ 清見オレンジ



きょうの市場から

国産初のタンゴール品種
(温州みかんとオレンジ)

樹上で完熟糖度を高め

ジの交配種)であり、「せとか」など多くの新品種の祖である「清見オレンジ」をご紹介します。

京都市場への出荷が多い和歌山県の産地では、鳥などに食べられないようにひとつつづつ袋をかぶせ、果樹園全体を網で覆うなど手間暇をかけて大切に育てられています。さらに、出荷直前まで収穫をせず樹上で完熟させることで、果実の酸味が甘みに変わりとても糖度が高くなっておいしくなるそうです。

皮が少し厚く果汁が多いため、手で剥くより、果物ナイフでカットとしてからお召し上がりいた

だくことをオススメします。たっぷりの果汁をしぼって生ジュースにしても大変おいしいです。

お求めの際は、ずつしりと重いものをお選びください。果汁がたっぷり詰まった証拠です。加えて、表面の皮がつるつとしていて、オレンジ色が濃いものが日によく当たって糖度と酸味のバランスがよいものです。暖かくなる春先に旬を迎え、甘みがさらに増しますのでこの季節にぜひご賞味ください。

(京都市中央市場)
|| 今月から毎月第1、第3、第5木曜に掲載します